



組織・仕事から考えるライフデザイン

Life Design from the Perspective of Organization and Work

科目提供大学名	関西学院大学
担当教員	柴田 学（人間福祉学部 社会起業学科 准教授）他 12 名
単位数	2 単位
最大授業定員	30 名
開講学期	後期 1 時限（10：50～12：20）木曜日（9月26日～1月16日、12月25日～1月7日は冬休み期間）
成績評価	出席状況、授業参加態度、コメントシート
テキスト	特になし
参考文献	授業時に提示
授業以外の学習方法	図書館・Webによる資料検索、slack等のツールを活用した情報共有
その他の特記事項	毎回、質疑応答やディスカッションの時間を作り、双方向の授業を展開する。なお、10分以上の遅刻は欠席とみなす（電車の遅延等は除く）。
講義概要	ライフデザインを設計するという観点から、企業や行政、NPOなどの多種多様な組織・活動について、演習形式で実践的に学びます。また、仕事選びに向けて視野を広げることで、学生生活から社会人への移行プロセスにおいて、仕事の楽しみ方について考える機会を提供します。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークや講師への質問を通じて自分の意見を相手に伝える「コミュニケーション力」を身につけること ・グループワークやコメントシートの記入を通じて自分を見つめ直す「振り返る力」を身につけること ・現実社会で自分の目標や夢を常に磨くことを通じて「自分なりのライフデザイン」を設計できること
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 労働・仕事・活動の視点（柴田 学） 2. グループワークで学ぶキャリアデザイン（アシスト 芦屋 新谷 有宏） 3. 仕事選びとワークライフバランス（関西学院大学 金 愛） 4. 交通インフラ・貨物ビジネスの将来（名阪船舶 高橋 宏之） 5. グローバル・ニッチ・トップ企業（福井製作所 福井 洋） 6. 仕事・事業としてのコミュニティデザイン（ウェルビーイング 阪急 阪神 石原 敏孝） 7. センシング技術の活用と社会貢献（古野電気 加藤 龍一） 8. ボードゲームで学ぶ NPO という仕事（柴田 学） 9. 若者応援バンクとコミュニティづくり（NPO 法人 なごみ 田村 幸大） 10. 地域コミュニティを仕事にする（ローカルフラッグ 濱田 祐太） 11. スタートアップ起業（神戸アジア食堂バル SALA 奥 尚子） 12. ロボットと人間の共生（X-mov Japan 長安 成暉） 13. 市役所で働く（西宮市長 石井 登志郎） 14. 金融機関による地域支援（日本政策金融公庫 関谷 善行） 15. 将来設計に向けた構想（柴田 学）

【更新履歴】

1. 第3回と第6回講義順入替え（2024.6.26）
2. 第5回と第13回講義順入替え（2024.9.20）



【代表】柴田 学（人間福祉学部 社会起業学科 准教授）

1. 1984年徳島県生まれ。博士（社会福祉学）。研究キーワードは、社会的連帯経済、コミュニティワーク、社会福祉学。主な著書に『これからの社会的企業に求められるものは何か』（共編著：ミネルヴァ書房）、『社会福祉法人はどこに向かうのか』（共著：大阪公立大学出版会）、『増進型地域福祉への展開』（共著：同時代社）など
2. 「社会的連帯経済＝人と人との支え合いによる経済活動」に魅力を感じて研究しています。具体的には、地域住民の協働で展開されるコミュニティビジネス、NPO や協同組合、地産地消を生み出すフェアトレードタウン運動に注目して研究を進めています。
3. 講義では、関西圏に拠点を置いている会社や組織から講師を招く予定です。また、受講生が将来に必要なスキルとコミュニケーション能力を高められるように、講師や受講者同士の対話・交流を重視したいと考えています。
4. コロナ禍以前・以後で、仕事・組織のあり方は価値観も含めて大きく変容しているように思います。講義の受講を通じて多様な価値観に触れる中で、将来の人生設計や仕事選びに向けて視野を広げてください。